

予算決算委員会都市経済分科会会議録

招 集

令和4年2月28日（月）本会議休憩中 議場

出席委員（9名）

（分科会長）国 頭 靖 （副分科会長）田 村 謙 介
遠 藤 通 中 田 利 幸 又 野 史 朗 三 嶋 秀 文
矢 倉 強 安 田 篤 渡 辺 穰 爾

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【経済部】杉村部長

〔商工課〕頼田課長 上場商工振興担当課長補佐 長門商工振興担当係長

【文化観光局】奥田局長

〔観光課〕石田課長 桑本担当課長補佐

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 森井議事調査担当局長補佐

傍 聴 者

安達議員 石橋議員 稲田議員 岡村議員 奥岩議員 尾沢議員 門脇議員

土光議員 戸田議員 西川議員 森谷議員 矢田貝議員

報道関係者1人 一般6人

審査事件

議案第7号 令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第14回）のうち当分科会所管部分

~~~~~

### 午前10時41分 開会

○国頭分科会長 ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、先ほどの本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案1件について審査をいたします。

経済部所管について審査をいたします。

議案第7号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第14回）のうち、経済部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

頼田商工課長。

○頼田商工課長 議案第7号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第14回）について御説明をいたします。お手元の補正予算書の5ページ目を御覧ください。

米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン事業費の繰越明許費についてですが、これは、9月定例会において増額補正をお願いした事業でございますが、その後感染症拡大の影響

により、計画どおりの事業実施ができなかったことから、次年度に繰越しをお願いするものでございます。なお、これまでの実績については、別途お渡しをしております資料を御参照ください。

次に、補正予算書の6ページ目と、右肩に経済部商工課と記された資料を御覧ください。米子市オミクロン株影響対策特別支援金に係る債務負担行為の設定でございます。年明け以降、米子市内では新型コロナのオミクロン株が蔓延し、1月27日から2月3日までの間、外出自粛要請が発出されました。この一連の流れは市内の飲食業だけではなく、サービス業や小売業など、幅広い業種に大きな影響を与えております。こうした状況を踏まえ、米子市では直接事業者を支援する策として、鳥取県が行うオミクロン株影響対策緊急応援金に単市で上乘せ支援をすることとし、これに係る経費の債務負担行為の設定をお願いするものでございまして、財源は国の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を充てることとしております。具体的な事業内容については、お配りしております配付資料を御覧ください。このたびの特別支援金は、業種を問わず対象としておりまして、要件は県の緊急応援金と同じで、売上げ規模により支援額は異なりますが、上乘せ額は原則県の半額を行うこととしております。また、このたびのオミクロン株の影響はこれまで2年間にわたるコロナの影響に重ねてのしかかっており、特に多店舗運営をしていらっしゃる事業者様が疲弊をしてくているというようなお声も頂戴しているところでございます。そのため、市独自で多店舗運営加算を設けまして、認証店だけではなく、協賛店を多店舗運営されている事業者へも支援をすることといたしました。本日、3月議会の先議として債務負担行為の設定を行うことで、年度内に本事業の広報や支援金の決定作業など、いち早く取りかかることが可能となり、受付は3月下旬ごろから始めたいというふうに考えております。なお、本事業に係る歳出予算については、精査の上、令和4年度当初予算の補正第1回目として最終日に御提案をさせていただく予定でございます。説明は以上です。

**○国頭分科会長** 当局の説明が終わりました。委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

遠藤委員。

**○遠藤委員** このコロナの問題で感染者の問題の数というのは、毎日中海テレビあたりでも報道されて報告が入るし、議会のほうにも報告が入っておるけども、問題はこの経済関係のこれの、必要だということの中で行われているわけけども、経済関係の被害状況と言えはおかしいけども、経済動向というものは把握しておられるんですか。例えば、業種別にどのような状況になっているかというようなことは、そういうのはあるんですか、データは。

**○国頭分科会長** 頼田課長。

**○頼田商工課長** 例えば、米子市がこれまで行ってきました特別支援金だとかっていうのは要件としてはコロナ前と比べて、例えば30%以上、あるいは50%以上、売上げが落ちた業種ということが対象になってまいります。こうしたところの結果を見ますと、やはり飲食業ですとか、それから小売業、こういったところが対象としてはやはり割合が多くなってきているというふうには考えております。一方で、建設業などは公共工事等に携わっておられる建設業については一定の堅調な動きをしているというふうには伺っております。そういったところで、我々も事業者様と直接話をする中で、そういったところのヒア

リングをしながら、あるいはこれまでやってきた施策を検証する中で、現状というものを捉えていくという状況でございます。

**○国頭分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 例えば、宿泊応援キャンペーンなら、皆生の状況なんていうのは把握しておられるんですか、具体的に。それから今報告があったけども、少なくとも国の金であろうと市の金であろうと、国家国民の税金ですから、公金ですから、これが本来私企業の営業のために使うなんてことは税外目的であって、正規なやり方ではないということは皆さんも分かっているし、我々も分かっている。緊急の事態だということで、ある意味では有事なんです、経済的に。いうことの中で税の使い方が出てきているわけですが、そういう大きな原点から言ったときに、事業をやるならやるで状況把握というものもやっぱり報告のできる状況というものを持っておらないといけないのではないのかなど。だけん、例えば、飲食業というのの動向が米子ではどういう状況なんだと、あるいは建設業ではどうなんだと、サービス業ではどうなんだというのを大まかでもいいから、そういうものを一通り事業をやった、貸し付けたことの事業の成果なり、報告が入っているけども、その実態というものが見えてない。皆生の場合もそうだ。そういうことも含めて、報告できるような体制が取れますか。

**○国頭分科会長** 杉村経済部長。

**○杉村経済部長** 先ほど商工課長のほうもお答えさせていただいたと思いますが、これまで幾度となく、この支援金を支給したり、あるいは宿泊応援キャンペーンをやってございます。その中で、実際の支援策の施策の効果を図るためにも、どういった業種が売上げ減につながっているのか、そういったものは各支援金の結果として集計もしておりますし、どの業種に支援金をたくさん支給したのか、そういったところである程度どの業種に影響が及んでいるのかということは、その都度都度の施策の事業の中で把握をしてきております。あるいは、観光業につきましては、毎月宿泊者数というものを駅前であるとか、皆生温泉、それぞれに分けて、実数というものを把握しております。これを昨年、あるいはコロナ前の一昨年と比べて、どういった変化をしてきているのか、こういったものも数字を拾って、毎月比較している分析表と、こういった数字を拾っていくというところがございます。当然宿泊キャンペーンの効果というものもどういった効果があるのかといったところは、それぞれの旅館組合であるとか、あるいは駅前のホテルの組合さんであるとか、こういったところからもいろいろ御意見なり、今状況としてどうなのか、こういったものも都度都度お聞きしているところでございます。

**○国頭分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 今、部長が言われたそういう内容のものを議会にもやっぱり資料として報告していただけないですか。例えば、今議会中でもいいですから、配っていただけませんか、資料として。

**○国頭分科会長** 杉村部長。

**○杉村経済部長** お配りさせていただきたいと思います。

**○国頭分科会長** ほかにございますか。

〔「なし」と声あり〕

**○国頭分科会長** ないようですので、以上で経済部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午前 10 時 50 分 休憩**

**午前 10 時 51 分 再開**

○国頭分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。  
予算決算委員会における予算分科会長報告の意見の取りまとめを行います。  
報告に入れる意見につきまして、委員の皆様のご意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○国頭分科会長 それでは、特になかった旨、報告させていただきます。  
以上で予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

**午前 10 時 52 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長 国 頭 靖